

新型コロナウイルス感染者発生時の施設消毒方法

令和3年9月9日版

中津川市学校薬剤師会 中津川市養護教諭部会

自校の学校薬剤師の指導を受けて実施する

*原則、翌日から学校があるため、その日のうちに消毒を済ませることが必要。

*学校薬剤師来校の都合がつかない場合は、電話にて指示を仰ぐ

1. 基本的な条件：施設消毒を毎日実施している。

2. 消毒作業に必要な物品：自校の物品を使用する。(必要に応じて市教委に相談可)

3. 消毒実施者：できるだけ少人数で行う

*本人の体調や基礎疾患保有、また家庭の状況などから選出

4. 消毒補助者：使用物品補充専門の職員が待機、又は予備を持参し、消毒実施者のサポートをする

*消毒液等補充のための移動による汚染エリアの拡大や、時間のロスを防ぐ

5. 消毒場所と方法：児童・生徒・職員が使用した教室、動線等から消毒場所と方法を定める

*3日以上使用しない教室の場合は、封鎖という選択も可

	レッドエリア <念入りに行く>	イエローエリア <薬剤師の指示のもと、状況に応じて行う>
場 所	該当感染者が所属・使用した教室・トイレ・水道 当該感染者が触ったことが想定される物品や箇所 (床はトイレのみ)	該当感染者が通っただけの場所 濃厚接触者になる兄弟が在籍している教室等 ※兄弟が他校に在籍する場合は連携する。
服 装	ゴム手袋、マスク ※防護服の着用は不要	同左
方 法	<基本の動き> ・一方通行拭き ・教室の奥から入り口方向に向かう ・高い場所から低い場所へ ・最後に足裏を消毒しそのエリア終了 ・消毒済みエリアと未消毒エリアの往来をしない <場所によって方法を選択> ※ペーパー類はすべて使い捨てとする ① 消毒液をペーパータオルに吹きつけて拭く ② 消毒液に浸したペーパータオルで拭く(ジッパー付ポリ袋の中で、消毒液に浸しておく) ③ 霧吹きで噴霧する(水道カランや広範囲の場所等) ④ トイレの消毒は使用箇所・床を重点的に行う	
ごみ処理	・ゴム手袋は、ひっくり返しながらはずし、汚染箇所(外側)を内側にしてゴミ袋に捨てる。 ・その他使用した物品も同袋に捨てる ・ゴミ袋を3重にして堅く口をしぼる ・学校にて3日間保管した後、一般可燃ゴミとして処分する	
その他 参考	・校舎教室配置図でエリアを色分けするとわかりやすい ・誰がどこを消毒したかを記録しておく(配置図に記録すると簡単)	